

証券コード：6748

# SEIWA

創意  革新

モノづくりの原点を見つめ、これから変わるもの変わらぬもの。

## 2019年3月期

2019年6月4日

# 決算説明会

皇和電機株式会社

- 1. 当社グループの概要**
- 2. 決算概要と今期の見通し**
- 3. 中期経営計画**

# 1. 当社グループの概要

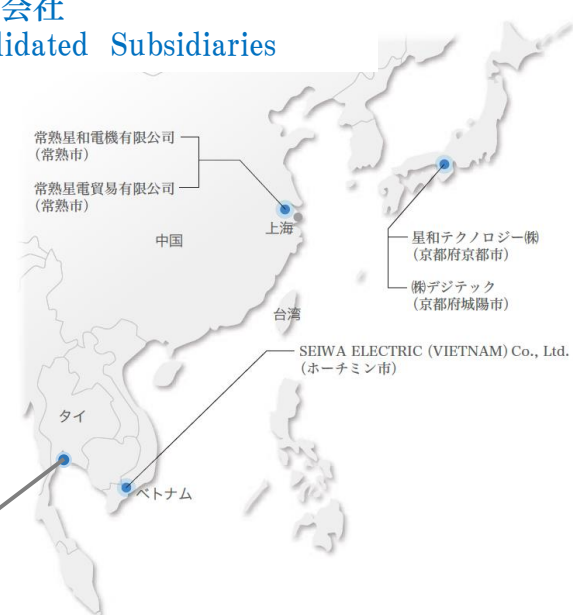
創業	昭和20年（1945年）10月1日
設立	昭和24年（1949年）1月18日
公開市場	東京証券取引所 第一部
本社所在地	京都府城陽市寺田新池36番地
資本金	36億48百万円
従業員数（2019年3月31日現在）	467名（155名）（ ）内は臨時従業員の年間平均人数



## ■ 支社・営業所・駐在員事務所 Branches & Sales Offices



## ■ 連結子会社 Consolidated Subsidiaries



昭和20年（1945） 創業（三星電気有限会社）

昭和24年（1949） 星和電機株式会社設立

GM型ソケット開発



GM型ソケット開発



防水・耐酸形蛍光灯器具

昭和25年（1950） 国産初の防水・耐酸形蛍光灯器具発売開始



安全増防爆形蛍光灯器具

昭和30年（1955） 国産初の安全増防爆形蛍光灯器具を開発

昭和32年（1957） 関門海底トンネルに照明器具を一括納入



関門海底トンネル照明器具

昭和38年（1963） カッチングダクト(CD)を発売



カッチングダクト

昭和43年（1968） 鈴鹿トンネルにトンネル非常警報装置を納入

昭和44年（1969） 東名高速道路に電光式道路情報板を納入



電光式道路情報板

平成元年（1989） 京都証券取引所、大阪証券取引所第二部に上場

平成 9年（1997） 電磁ノイズ対策製品事業開始

平成14年（2002） 青色発光ダイオードの発売を開始



電磁ノイズ対策製品



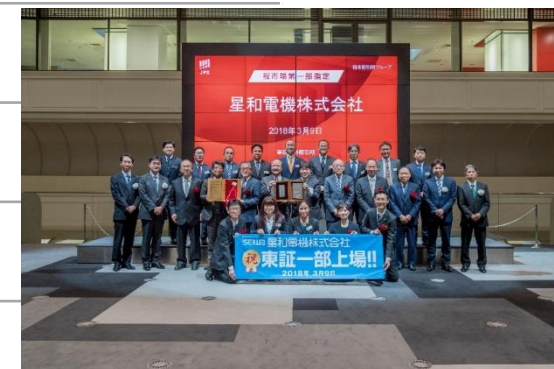
青色発光ダイオード

平成20年（2008） 国内初、安全増防爆形LED照明器具を発売



安全防爆形LED照明器具

平成30年（2018） 3月 東京証券取引所第一部に指定替え



平成30年（2018） 11月 タイ バンコク駐在員事務所を開設

## 経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、  
新技術に挑戦して、社会に貢献する。

## 経営方針

メーカーの使命は高い製造力。  
製造力とは、高品質・低コスト・短納期を  
実現するそれぞれの部門の技術力である。

**ミッション****使命**

国内外の市場で、複合技術を活用したソリューション展開により社会に貢献する

**市場**

- ①安心・便利で経済的な次世代インフラ分野
- ②グリーン・経済的なエネルギー需給分野

**技術**

既存技術 + 複合技術（システム技術⇔コンポーネント技術）

**戦略**

- ①ニッチ戦略を踏襲しながら、新たな官市場、民市場を探索する
- ②顧客要求を満足する新たな価値を創造する（ハードからソフトへの変換）

**ビジョン****目指す姿**

環境変化に適応した俊敏な事業活動により、  
マルチコアカンパニーとして進化し続ける企業を目指す



## Information System

情報システム事業

- 情報表示システム



## Lighting

照明事業

- 産業用照明機器
- 道路・トンネル照明機器
- 照明用LEDモジュール製品



## Component

コンポーネント事業

- ノイズ対策製品
- 配線保護機材



## Information System

情報システム事業

道路を利用する方へ正確な情報を提供するために  
「光」と「情報」の可能性を追求



マルチカラーECO情報板



LED式信号機



無停電電源装置 LiO UPS-LP



トンネル警報表示板

Lighting  
照明事業

道路をトンネルを工場を明るく照らし続けるために  
LED照明の可能性を追求



海外向け防爆形LED灯器具



国際防爆認証



欧州防爆認証



TIS 認証



中国防爆認証

TIS 1955-2551



防爆形  
LED灯  
器具



LED  
道路灯  
DELGA



トンネル照明

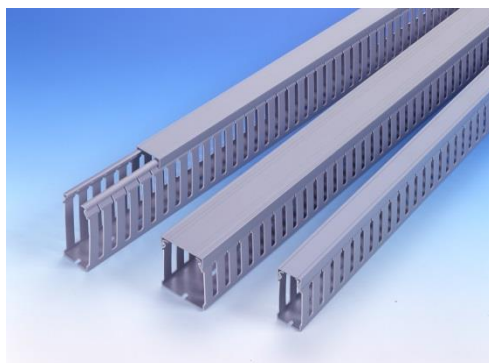


事故・落下物・故障車などの異常発生時に黄色点滅  
サイン照明

## Component コンポーネント事業

社会のニーズに応える独創的な製品を  
創意と技術力で開発

カッチングダクト



エスシーロック



配線保護機材



フェライトコア



電波暗室

ノイズ対策製品

## 2. 決算概要と今期の見通し

- 公共投資関連の減少によって、売上高は13.6%減収
- 民需関連は増益となったものの、公共投資関連の減収の影響が大きく大幅減益となった

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率(%)
売上高	23,596	20,390	△ 3,206	△ 13.6%
売上総利益	4,515	3,545	△ 970	△ 21.5%
(売上総利益率)	19.1%	17.4%	△ 1.7P	-
販管費	3,754	3,543	△ 211	△ 5.6%
営業利益	760	1	△ 758	△ 99.7%
経常利益	755	△ 14	△ 770	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	591	213	△ 378	△ 63.9%

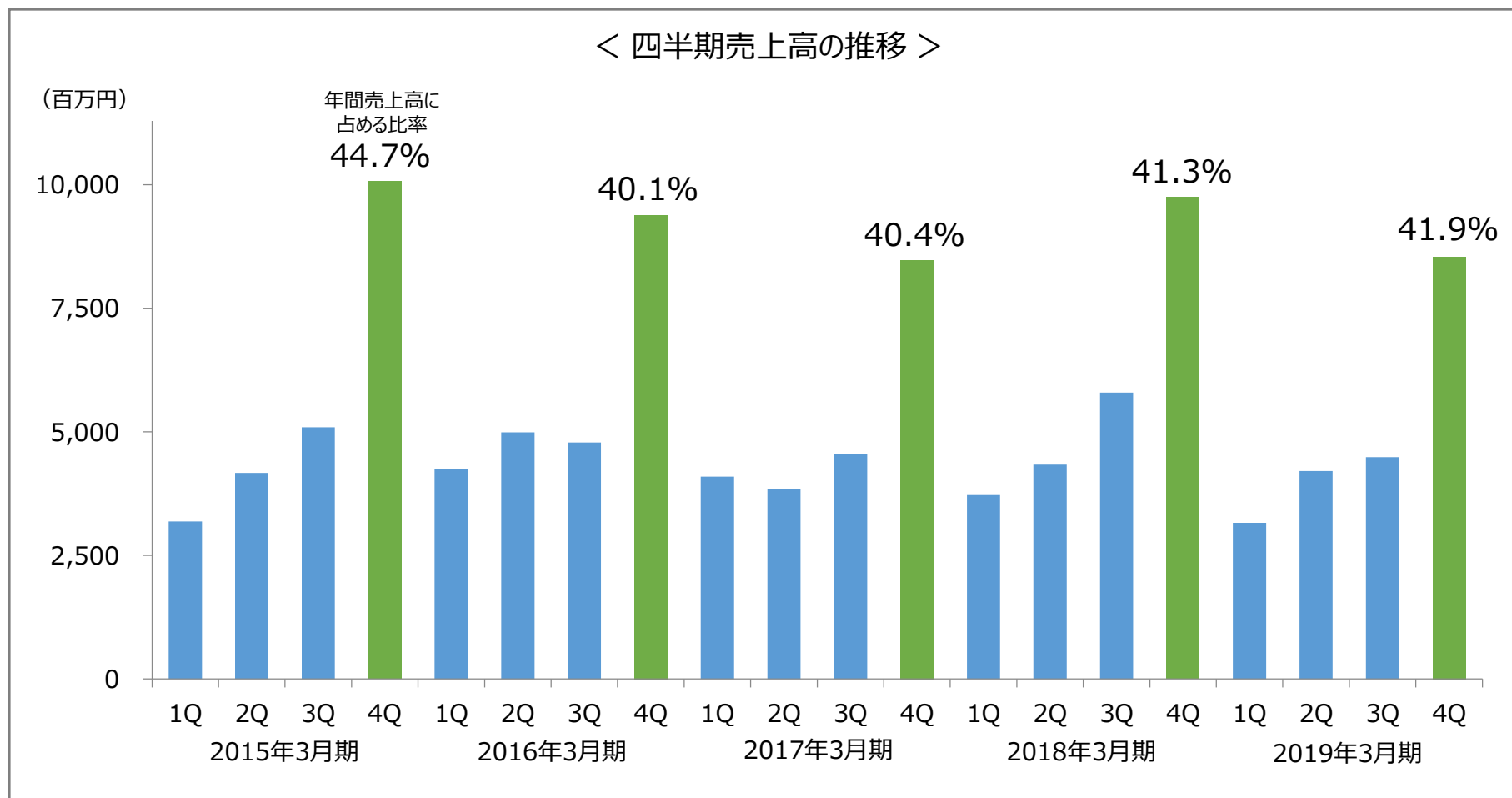
(官需比率)

56%

46%

# (参考) 売上の季節変動

- 官公庁向けの納入時期が年度末に集中するため、第4四半期（1月～3月）の売上比率が高くなる傾向があります

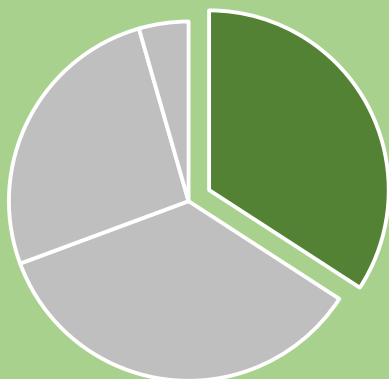




## 情報機器

2019年3月期  
売上高構成比

**34.2%**



(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率(%)
売上高	8,900	6,963	△ 1,936	△ 21.8%
セグメント利益	△ 39	△ 176	△ 136	-
受注高	9,277	10,924	1,646	17.7%
受注残高	4,231	8,192	3,960	93.6%

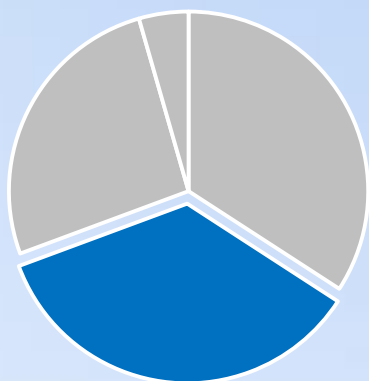
- (売上高) 発注量の減少、受注案件の小型化、  
発注時期の遅延などにより大きく減少
- (利益) 売上高の大幅な減少により損失大
- (受注残高) 93.6%増と大幅増



## 照明機器

2019年3月期  
売上高構成比

**35.1%**



(単位：百万円)

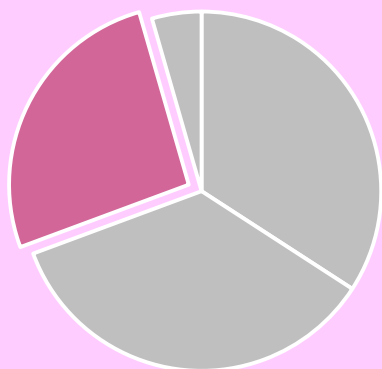
	2018/3期	2019/3期	増減	増減率(%)
売上高	8,469	7,177	△ 1,291	△ 15.3%
セグメント利益	995	438	△ 556	△ 55.9%
受注高	6,702	7,132	430	6.4%
受注残高	719	674	△ 44	△ 6.2%

- (売上高) LED照明器具は堅調、トンネル照明が大きく減少
- (利益) 売上の大幅な減少により減益
- (受注残高) ほぼ前年と同水準

## コンポーネント

2019年3月期  
売上高構成比

**26.2%**



(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	増減率(%)
売上高	5,348	5,340	△ 8	△ 0.2%
セグメント利益	1,089	927	△ 161	△ 14.8%
受注高	5,485	5,278	△ 207	△ 3.8%
受注残高	262	189	△ 73	△ 28.0%

- (売上高) 電磁波環境部品が減少
- (利益) 売上減少と原材料コストの上昇により減益
- (受注残高) 前年より減少

(単位：百万円)

	2018/3月末	2019/3月末	増減
流動資産 計	17,986	16,428	△ 1,558
現金及び預金	2,519	2,215	△ 303
受取手形及び売掛金	11,603	10,257	△ 1,345
たな卸資産 ※	3,889	3,745	△ 143
固定資産 計	7,705	7,392	△ 313
有形固定資産	3,039	2,970	△ 68
無形固定資産	576	532	△ 44
投資その他の資産	4,089	3,889	△ 199
流動負債 計	11,698	10,559	△ 1,139
支払手形及び買掛金	5,493	4,699	△ 794
短期・1年内返済予定長期借入金	4,258	4,292	33
固定負債 計	3,405	2,829	△ 576
長期借入金	2,558	2,399	△ 159
退職給付に係る負債	2	1	△ 0
純資産	10,588	10,432	△ 155
自己資本	10,569	10,409	△ 160
非支配株主持分	19	23	4
総資産	25,692	23,821	△ 1,871
<自己資本比率>	41.1%	43.7%	+2.6P

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	△ 859	428	1,288
税金等調整前当期純利益	747	309	△ 437
減価償却費	480	504	23
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 2,334	1,337	3,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	111	142	30
仕入債務の増減額 (△は減少)	335	△ 790	△ 1,126
法人税等の支払額	△ 116	△ 111	4
投資キャッシュ・フロー	△ 579	△ 462	116
有形固定資産の取得による支出	△ 484	△ 276	207
財務キャッシュ・フロー	1,493	△ 252	△ 1,746
借入金の純増減額	939	△ 121	△ 1,060
現金及び現金同等物 期中増減額	45	△ 298	△ 343
現金及び現金同等物 期末残高	2,300	2,001	△ 298

# 2020年3月期業績見通し

SEIWA

- (売上高) 238億円
- (利益) 営業利益 10億円 経常利益 9億5千万円

(単位：百万円)

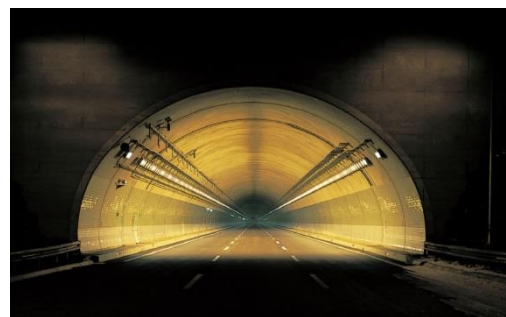
	2019/3期	2020/3期 予想	増減	増減率(%)
売上高	20,390	23,800	3,409	16.7%
情報機器	6,963	9,500	2,536	36.4%
照明機器	7,177	7,700	522	7.3%
コンポーネント	5,340	6,200	859	16.1%
その他	909	400	△ 509	△ 56.0%
営業利益	1	1,000	998	509倍
経常利益	△ 14	950	964	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	213	700	486	228.4%

## ■ 照明機器事業

防爆形・防湿形・防水形などの  
LED照明器具の新製品開発



LEDトンネル照明器具の新製品開発



低圧ナトリウムの照明



LED光源の照明

タイ バンコク駐在員事務所による海外展開

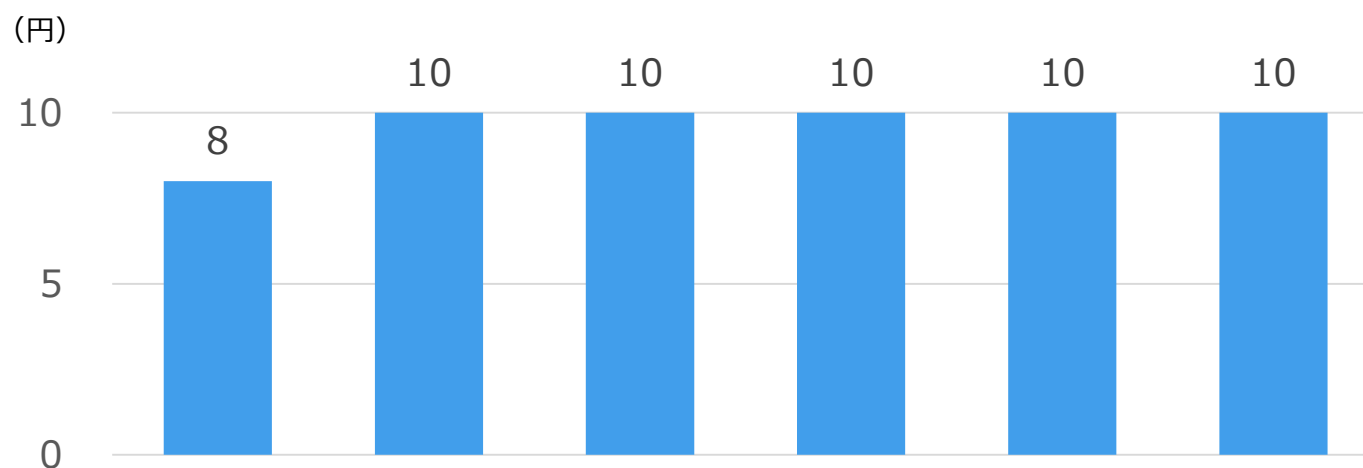


- (設備投資) 主に器具備品や照明器具、樹脂成形品の金型等
- (研究開発) 「省エネルギー」と「人と環境を考えたものづくり」  
キーワードは「環境配慮」

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	2020/3期 予想	増減
設備投資	465	307	△ 158	400	92
減価償却費	480	504	23	500	△ 4
研究開発費	269	332	62	400	67

## ■ 1株当たり配当の推移



決算年月	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3(予)
1株当たり配当額 (円)	8	10	10	10	10	10
(うち1株当たり中間配当額)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

## ■ 配当方針

株主に対する安定配当の維持と将来の事業展開のための内部留保の充実を考慮して、毎事業年度における業績と財務状況等を総合的に勘案する



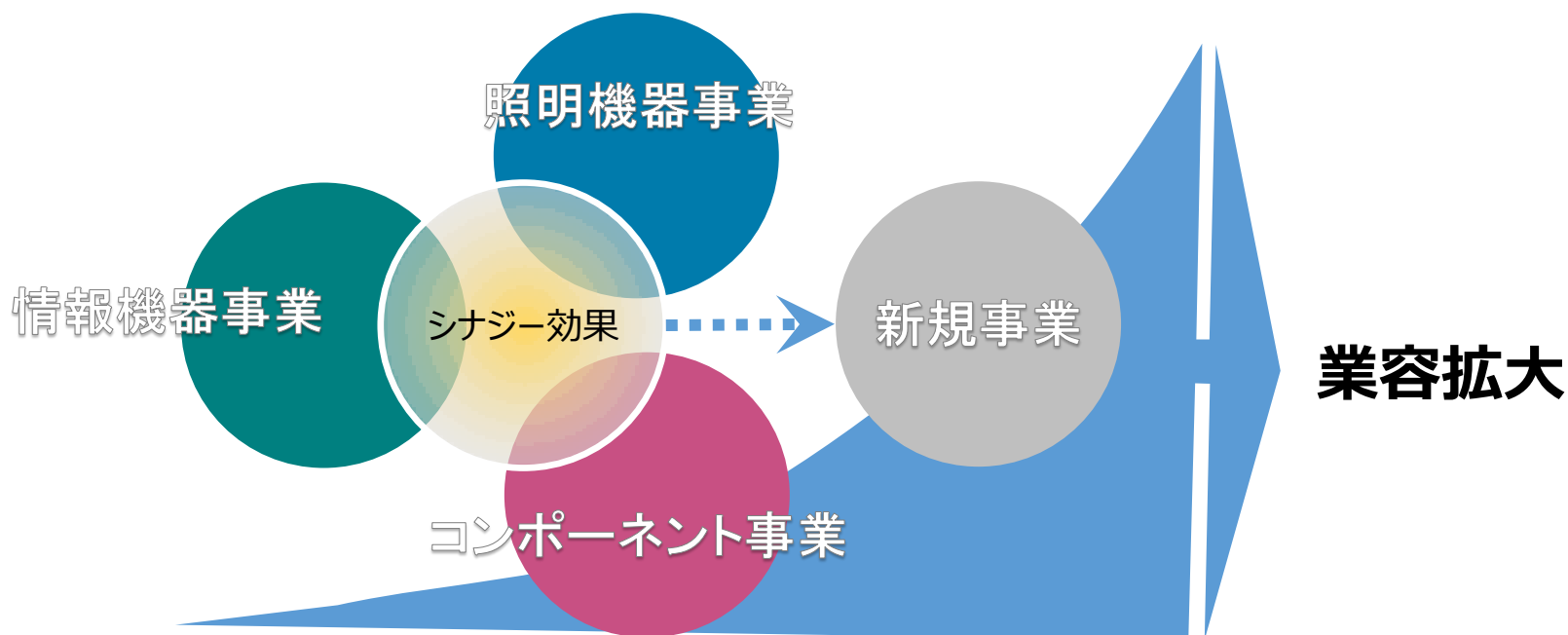
### 3. 中期経営計画

**Seiwa Wayの実践、定着により、  
“技術を高める知恵”が出る体質を目指す**

産業用照明、道路・トンネル照明をはじめ**幅広い分野**で、  
**ニーズに対応**したLED照明器具と

コンポーネント製品の**新製品開発**

独創的な**発想力と技術力**を基盤に、さらに**革新的な製品**づくりで**業容拡大**



## 事業展開方針

1. 品質と技術力の向上、および既存の作り方から脱却した製造構造改革により低コスト経営の実績と顧客満足を高め、事業収益性を向上させる
2. 独自技術の育成とシステム製品を実現した新製品開発を大きく加速させ事業を安定化させると同時に大きく拡大させる
3. 新規顧客と販売ルート of 拡大により新たな事業展開を構築する

## 事業戦略

1. 信頼性の高いモノ作り体制の再構築
2. 既存コア事業体として、生産性向上を柱とする各機能の抜本的改革
3. 公共分野におけるシステムインテグレーターを目指す
4. 公共事業における維持管理時代に向けた新事業領域を推進する

## 事業展開方針

1. システム化製品への転換で、差別化と高付加価値を実現する
2. 新事業領域の拡大により、売上・事業収益を拡大する
3. 海外グループとの相乗効果を活かし、QCDにおいて世界に通用するワールドモデルの製品開発と生産、販売を推進する

## 事業戦略

1. 産業用照明、交通用照明・交通安全機材  
工場を中心とした民間市場の照明設備展開と道路・トンネル・街路関連のインフラ系照明設備、防災、セキュリティ関連市場の照明設備を展開
2. 照明システム  
産業用・道路・トンネル用照明製品をシステム化し高付加価値を実現すると共に関連製品を拡充する
3. スマートシステム  
LEDモジュールの高付加価値化を実現し、特殊環境市場、鉄道関連、自動車関連、インフラ関連等に展開
4. 海外展開  
タイ、ベトナムなど東南アジアや、中国、台湾の市場に展開

## 事業展開方針

1. 事業領域としてはB to Bで且つニッチ市場（ニッチトップ）にハードとソフト両面とエンジニアリング領域の展開を図り事業基盤強化
2. 既存コア技術の単機能から複合機能への転換を図り新市場領域の創出と参入による事業拡大
3. 技術戦略として材料開発、高機能製品化（付加価値製品）及び新技術の研究、新分野領域への技術力強化

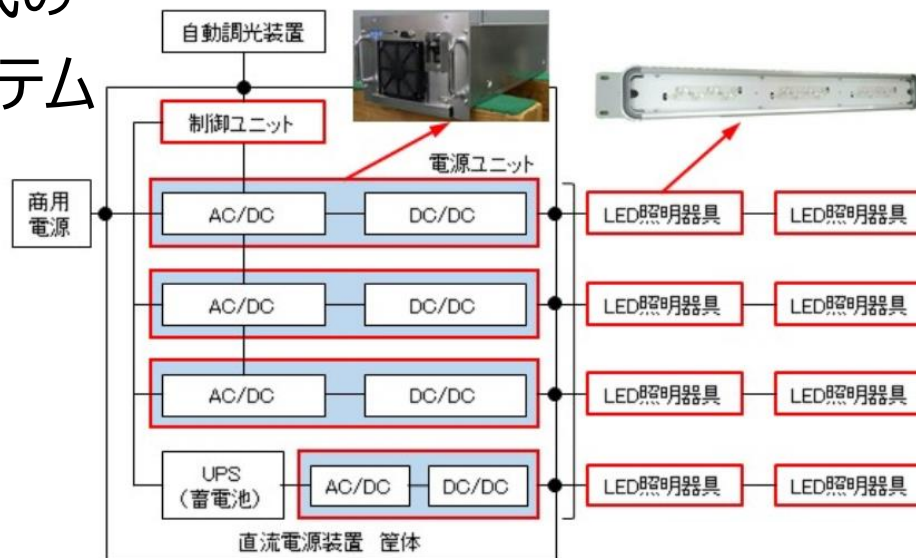
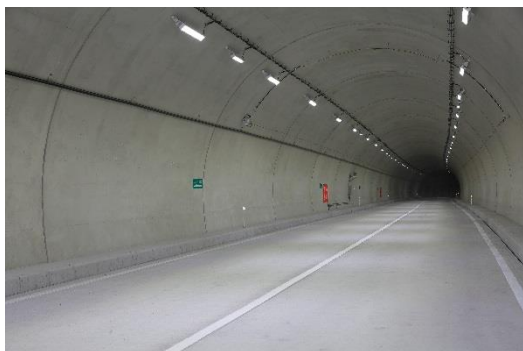
## 事業戦略

1. EMC・熱対策部品  
材料開発、要素技術開発を加速させ、自動車関連、インフラ関連、医療機器、装置機器等
2. 機構部品・部材  
材料開発、複合製品開発を中心に、インフラ関連（通信、機械装置産業）、防災セキュリティ市場（カメラ等）、農業関連等

市場要求に適合したシステム製品を開発・製造するシステム設計技術  
【ハード(光源、電源、筐体、アナログ/デジタル回路)  
×ソフト(制御技術)】

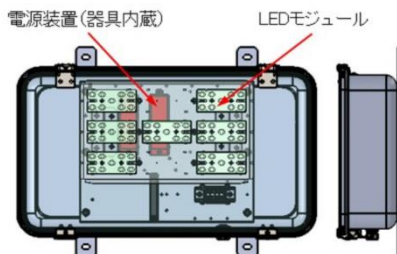
- ①道路インフラシステム技術
- ②照明制御システム技術
- ③IoT技術
- ④各システム評価技術(各テスト技術、シミュレーション技術)

## 日本初直流給電方式のトンネルLED照明システム

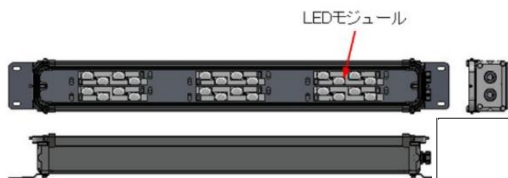


LED照明器具は電源装置レス

### 参考システム構成(赤枠部新技術)



交流給電方式用(従来技術)

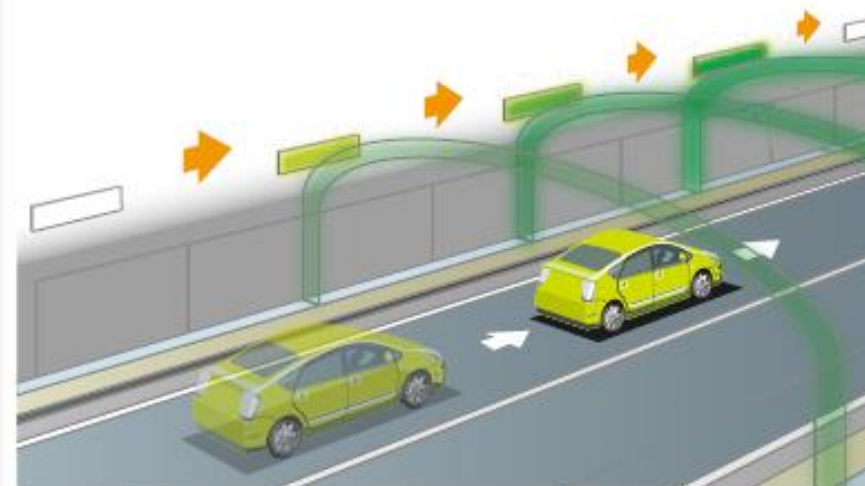


### 器具外観比較

	交流給電方式 (従来)	直流給電方式 (新技術)	比較
器具外形サイズ (縦×横×高さ) (mm)	420×740×150	130×1000×96	—
容積比 (%)	100	27	約 73%小型化
質量 (kg)	14.5	6.5	約 55%軽量化



新名神高速道路(高槻JCT・IC～神戸JCT)に  
日本初となるトンネル照明灯具を用いたペースメーカーライトを納入



トンネル照明が緑色点灯して進行方向に向かって光が移動

星和電機の遠隔監視ツール

## S-BOX

エス・ボックス

クラウドサーバの利用で  
お手軽・簡単!

S-BOXは、通信機能をワンパッケージ化したスマートな遠隔監視ツール。面倒な設置工事が不要で、電源を入れるだけですぐに録画を開始します!

監視カメラ + ルーター + SIMカード + 専用ソフト + クラウドサーバ

お手持ちのパソコン・スマホ・タブレットで、  
「現在」を監視し、「過去」を素早く検証!

しっかり監視

すばやく検証

遠隔監視ツール  
S-BOX



性能試験所

平成30年6月21日  
平成30年6月21日

**JNIA**

### 登録証

京都府城陽市寺田新池36番地  
星和電機株式会社  
代表取締役社長 増山 晃章 殿

工業標準化法第57条第1項の規定に基づき登録試験事業者として登録します。

登録番号 170387JJP  
登録年月日 平成29年 7月19日  
登録の有効期間 平成33年 7月18日まで  
試験所の名称 星和電機株式会社 性能試験所  
及び所在地 京都府城陽市寺田新池36番地  
試験方法の区分 別紙のとおり1区分

平成30年 6月21日

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
理事長 辰巳 敬

(別紙)

登録年月日	平成29年 7月19日
登録の有効期間	平成33年 7月18日まで
試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
照明器具電気的特性試験	試験方法規格 JIS C 8105-5 5.6、8.3.1及び8.3.3

備考：登録の区分は、官報及び認定機関のホームページ等で公表された最新版の区分が適用される。

# 皇和電機株式会社

TEL: 0774-55-8181

FAX: 0774-58-2034

E-mail: [info@seiwa.co.jp](mailto:info@seiwa.co.jp)

<https://www.seiwa.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2019年6月4日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関するリスクや不確定要素により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。